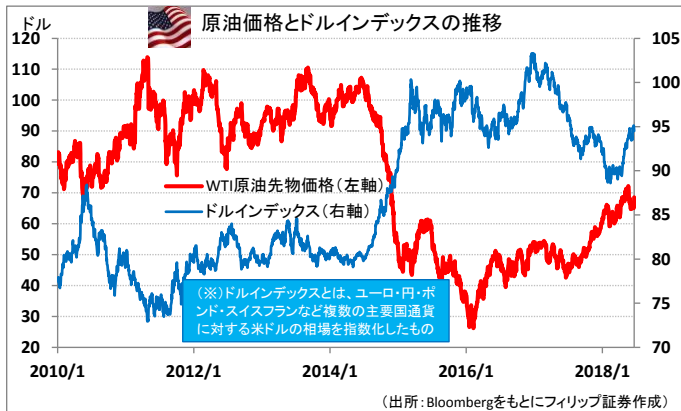
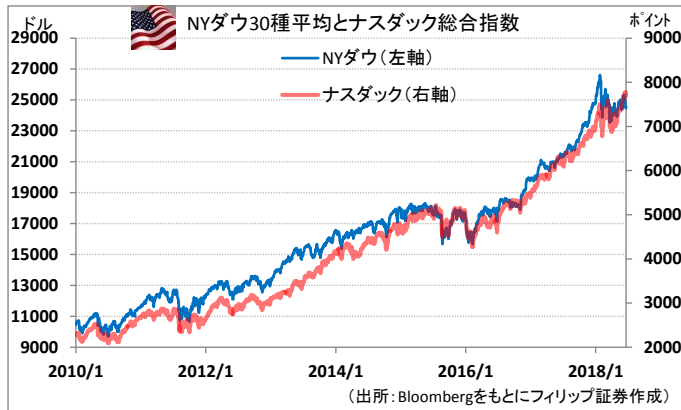


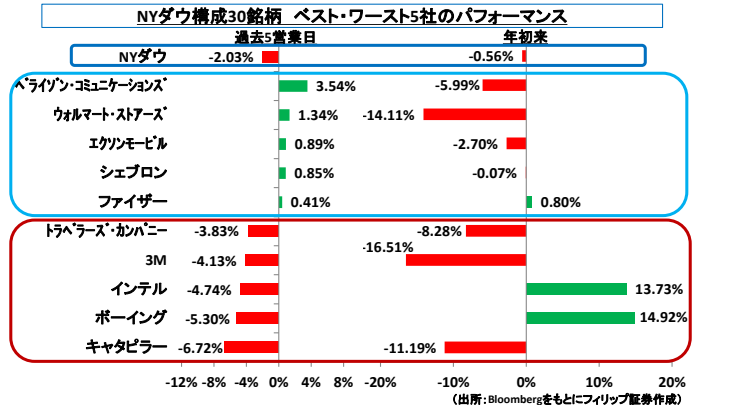
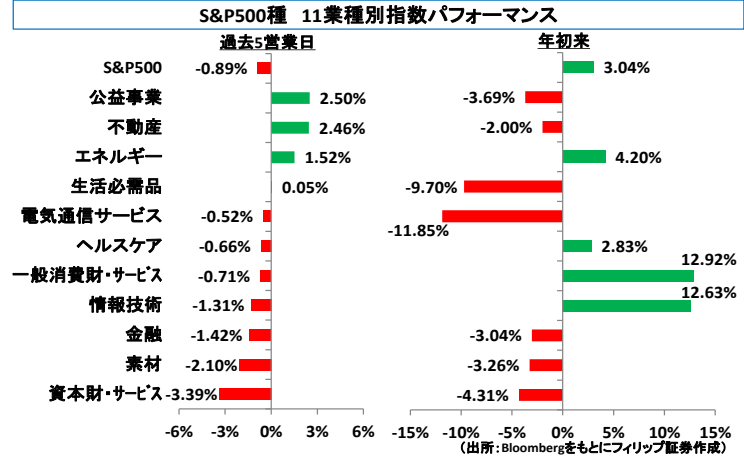
Report type: ウィークリーストラテジー



■“報復合戦の様相から上値の重い展開か？”

- 6/22, NYダウは9営業日より反発となったが、6/11の25,322.31ドルから6/21の24,461.70ドルまで8営業日続落。この間860.61ドル(3.40%)下落し、貿易摩擦の懸念からキャタピラー(CAT)やボーイング(BA)の株価は大きく下落した。
- 欧州委員会は6/20、米国による鉄鋼・アルミニウムへの25%の追加関税(6/1発動)への対抗措置を決定し、6/22に発動。対象は鉄鋼製品の他、ハーレーダビッドソン(HOG)のオートバイやリーバイ・ストラウスのジーンズ、バーボンウイスキーなど28億ユーロ(約3,600億円)。共和党有力議員の選挙区の有力産品を狙い撃ちし、トランプ政権に揺さぶりをかけている。トランプ大統領は同日、「貿易障壁を取り除かなければ、米国への輸入車すべてに20%の関税をかける。」とツイッターに投稿。欧州委員会のカタイン副委員長は自動車関税に対し、「またもや、対抗する以外に選択肢はないだろう」と発言している。
- 中国は7/6からの米国による制裁関税発動(818品目・340億ドル相当に25%)への対応策として6/24、人民銀行が預金準備率16%を7/5から0.5ポイント引き下げることを発表。資金用途は限定されるが、銀行の貸し出し余力を高め企業の資金繰りをサポートする。6/30に発表予定の6月の中国製造業及び非製造業のPMIの市場予想はそれぞれ51.7(5月は51.9)、54.8(同54.9)と節目の50を上回る堅調な見通し。7月月初に発表される米国の6月のISM製造業及び非製造業景況指数の市場予想は、それぞれ58.2(5月は58.7)、58.1(同58.6)。貿易摩擦の影響を見極めるうえで、両国の企業マインドの動向に注目したい。
- また、米財務省は緊急法制の下で中国による米重要産業分野への投資の精査の強化を計画している模様。同計画が実施されれば米中貿易摩擦は解消不能になる可能性があるとして一部で報道されている。ホワイトハウスは国際緊急経済権限法(IEEPA)に基づき、新エネルギー車やロボット工学、航空宇宙などの分野において、米企業に対する中国の投資が米国の経済・国家安全保障への脅威であると宣言する模様。米国が追加措置をとれば、中国が同国で事業展開する米国企業に圧力を掛ける可能性もある。米欧、米中とも貿易摩擦が報復合戦の様相を呈し、相場は上値の重い展開となろう。短期的に、ハイテクや石油関連など個別に評価余地があると見られる企業をピックアップしたい。(庵原)
- 6/26号ではCF インダストリーズ・ホールディングス(CF)、フェデックス(FDX)、マイクロン・テクノロジー(MU)、オラクル(ORCL)、エクソンモービル(XOM)、ウォルグリーン・ブーツ・アライアンス(WBA)を取り上げた。

■S&P500 業種別および NYダウ構成銘柄の騰落率(6/22 現在)



■主な企業決算の予定

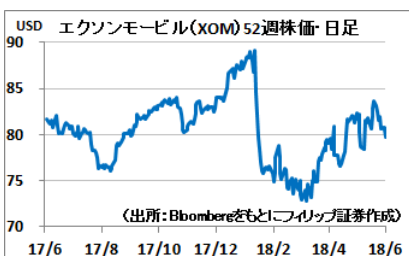
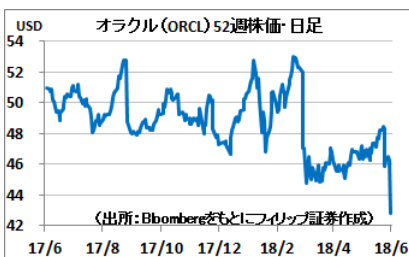
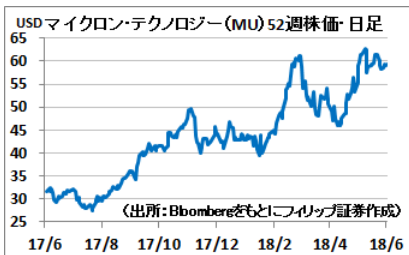
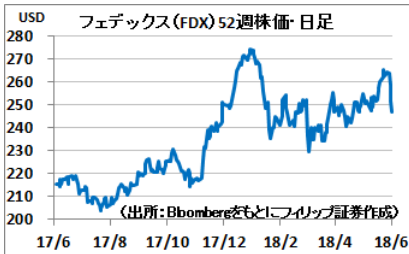
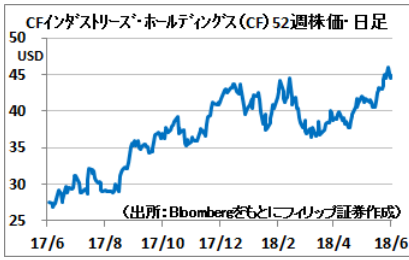
- 6月28日(木): ナイキ、ウォルグリーン

■主要イベントの予定

- 26日(火):
 - アトランタ連銀総裁、ダラス連銀総裁が講演
 - 4月の主要20都市住宅価格指数
 - 6月の消費者信頼感指数
- 27日(水):
 - ボストン連銀総裁が講演
 - 5月の耐久財受注
 - 5月の中古住宅販売成約指数
 - 中国5月の工業利益
- 28日(木):
 - セントルイス連銀総裁が講演
 - アトランタ連銀総裁、アトランタで会議に出席
 - 1-3月のGDP(確定値)
 - 23日終了週の新規失業保険申請件数
 - FRBが包括的資本分析(CCAR)の結果を公表
 - EU首脳会議(ブリュッセル、29日まで)
 - ECB経済報告
- 29日(金):
 - 5月の個人支出・所得
 - 6月のミシガン大学消費者マインド指数(確定値)
- 30日(土):
 - 中国6月の製造業PMI、非製造業PMI
- 7月1日(日):
 - メキシコ大統領選挙・議会選挙
 - 独首相、移民政策についてCDU幹部と会合

(Bloombergをもとにフィリップ証券作成)

■ 銘柄ピックアップ



- ◇ **CF インダストリーズ・ホールディングス(CF)・・・2018/8/11に2018/12期2Q(4-6月)の決算発表を予定**
 - ・1946年に地方農協のグループによる肥料仲介事業として設立。窒素肥料のグローバルリーダーで、世界規模の窒素コンビナートを所有・運営するほか、農業サービスを提供している。
 - ・2018/12期1Q(1-3月)は、売上高が前年同期比7.7%減の9.57億 USD、純利益が6,300万 USD と前年同期の▲2,300万 USD から黒字転換。EPS は0.27USD と市場予想の0.26USD を上回った。東欧や中国で肥料生産が減少。需給引き締めによる販売価格の上昇が寄与した。
 - ・2018/12通期市場予想は、売上高が前期比3.3%増の42.67億USD、当期利益が同33.2%減の2.39億USD。カウエンのネイバート氏は、大豆価格低下によりコーンの栽培が進むことで、肥料需要が増大すると予想。肥料関連株を「青いバナナのように今が買い時」とした。(増測)
- ◇ **フェデックス(FDX)・・・2018/9/19に2019/5期1Q(6-8月)の決算発表を予定**
 - ・1971年創業、1997年に持株会社として設立。総合航空貨物輸送会社で、子会社を通じて企業・個人向けの各種輸送業務、電子商取引、ビジネスサービスをグローバルに展開している。
 - ・2018/5期4Q(3-5月)は、売上高が前年同期比8.8%増の173.14億 USD、純利益は同10.5%増の11.27億 USD。調整後 EPS は5.91USD と市場予想の5.69USD を上回った。世界的な好景気で輸送需要が拡大し、輸送量・基本運賃がともに改善。各種税控除の3.88億 USD も寄与し、蘭 TNT エクスプレス統合費用やサプライチェーンのれん減損を乗り越え増益を確保。
 - ・2019/5通期会社計画は、売上高が前期比9%増、営業利益率が7.9%(蘭 TNT エクスプレス統合費用を除くと8.5%)、調整後 EPS が17.00-17.60USD、設備投資が56億 USD。市場予想は、売上高が前期比7.4%増の703.09億 USD、当期利益が同0.1%減の45.27億 USD。(増測)
- ◇ **マイクロン・テクノロジー(MU)・・・2018/9/25に2018/8期4Q(6-8月)の決算発表を予定**
 - ・1978年創業の半導体製造企業。DRAM、NAND、NOR 型フラッシュメモリー等の高性能メモリー技術を幅広く持ち、自動車、コネクテッドホーム、産業用機械向け等サービスを提供する。
 - ・2018/8期3Q(3-5月)は、売上高が前年同期比40.1%増の77.97億 USD、純利益が同2.3倍の38.23億 USD。調整後 EPS は3.15USD と市場予想の3.13USD を上回った。クラウドサービスの普及やデータ量拡大を背景にデータセンター向けなどの半導体メモリー需要が堅調だった。
 - ・2018/8期4Q(6-8月)会社計画は、売上高が80.0-84.0億 USD、売上高総利益率が59-62%、営業費用が7.25-7.75億 USD、EPS は3.23-3.37USD である。2018/8通期の市場予想は、売上高が前期比48.6%増の301.99億 USD、当期利益が同2.7倍の138.19億 USD である。(増測)
- ◇ **オラクル(ORCL)・・・2018/9/13に2019/5期1Q(6-8月)決算発表の予定**
 - ・2005年設立。クラウド・アプリケーション、プラットフォーム・サービス、ストレージ、ネットワークサービス、エンジニアド・システムから成る包括的な完全統合型スタックを提供する。クラウドサービスは SaaS、PaaS、IaaS の3つの利用形態がある。145カ国以上で42万社超の顧客を持つ。
 - ・2018/5期4Q(3-5月)は、売上高が前年同期比3.3%増の112.51億 USD、純利益が同5.5%増の34.08億 USD。調整後 EPS は0.99USD と市場予想の0.94USD を上回った。企業資源計画向け「Fusion ERP」や人事管理向け「Fusion HCM」など SaaS 型クラウド・ソリューションが牽引した。
 - ・2019/5期1Q(6-8月)会社計画は、為替変動を除いた売上高が前年同期比1-3%増、調整後 EPS が0.67-0.69USD、為替変動の影響を除いた調整後 EPS は0.68-0.70USD。通期市場予想は、売上高が前期比3.0%増の410.14億 USD、当期利益が同2.9倍の110.19億 USD。(増測)
- ◇ **エクソンモービル(XOM)・・・2018/7/27に2018/12期2Q(4-6月)の決算発表を予定**
 - ・1999年にエクソンとモービルの合併により設立された世界最大の石油・ガス会社。スーパーメジャーと呼ばれる6社の内の1社で、業界トップの資源在庫を保有。世界各地で石油とガスの探査・生産を行う。発電、鉱山事業やガソリン、潤滑油、化学品の製造・販売も手掛ける。
 - ・2018/12期1Q(1-3月)は、売上高が前年同期比16.3%増の682.11億 USD、純利益が同16.0%増の46.50億 USD。EPS は1.09USD と市場予想の1.10USD を下回った。原油・天然ガスの価格上昇により生産などの上流部門の収益が改善。寒波による天然ガスの需要増も寄与。
 - ・2018/12通期市場予想は、売上高が前期比27.0%増の3,011.52億 USD、当期利益が同5.7%増の208.24億 USD。OPEC 総会で合意された増産規模は市場予想を下回った。(増測)
- ◇ **ウォルグリーン・ブーツ・アライアンス(WBA)・・・2018/6/28に2018/8期3Q(3-5月)の決算発表を予定**
 - ・1849年創業した米国・欧州で最大のドラッグストアチェーン。11カ国に13,200店舗超の店舗を保有。「Walgreens」「Duane Reade」「Boots」などのブランドで店舗を展開するほか、「No7」「Soap & Glory」「Liz Earle」「Sleek MakeUP」「Botanics」などの自社製品ブランドも提供する。
 - ・2018/8期2Q(12-2月)は、売上高が前年同期比12.1%増の330.21億 USD、純利益は同27.3%増の13.49億 USD。調整後 EPS は1.73USD と市場予想の1.55USD を上回った。処方箋薬の販売数が増加。「AllianceRx Walgreens Prime」の開始や「Rite Aid store」の買収も寄与。
 - ・2018/8通期会社計画は、調整後 EPS が5.85-6.05USD。通期市場予想は、売上高が前期比11.6%増の1,319.17億 USD、当期利益は同17.2%増の47.79億 USD。同社は GE に代わりダウ工業株30種平均への採用が決定。6/26の取引終了後より組み入れが開始する。(増測)

(※)決算発表の予定は6/22現在であり、変更される可能性があります。



フィリップ証券株式会社

Member of PhillipCapital Group

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第127号

加入協会: 日本証券業協会、一般社団法人金融先物取引業協会

【留意事項】

- 上場有価証券等のお取引の手数料は、国内株式の場合は約定代金に対して上限1.242%(消費税込)(ただし、最低手数料2,160円(消費税込)、外国取引の場合は円換算後の現地約定代金(円換算後の現地約定代金とは、現地における約定代金を当社が定める適用為替レートにより円に換算した金額をいいます。)の最大1.08%(消費税込)(ただし、対面販売の場合、3,240円に満たない場合は3,240円、コールセンターの場合、1,944円に満たない場合は1,944円)となります。
- 上場有価証券等は、株式相場、金利水準等の変動による市場リスク、発行者等の業務や財産の状況等に变化が生じた場合の信用リスク、外国証券である場合には為替変動リスク等により損失が生じるおそれがあります。また新株予約権等が付された金融商品については、これらの権利を行使できる期間の制限等があります。
- 国内金融商品取引所もしくは店頭市場への上場が行われず、また国内において公募、売出しが行われていない外国株式等については、我が国の金融商品取引法に基づいた発行者による企業内容の開示は行われていません。
- 金融商品ごとに手数料等及びリスクは異なりますので、お取引に際しては、当該商品等の契約締結前交付書面や目論見書又はお客様向け資料をよくお読みください。

【免責事項】

- この資料は、フィリップ証券株式会社(以下、「フィリップ証券」といいます。)が作成したものです。
- 実際の投資にあたっては、お客様ご自身の責任と判断においてお願いいたします。
- この資料に記載する情報は、フィリップ証券の内部で作成したか、フィリップ証券が正確且つ信頼しうると判断した情報源から入手しておりますが、その正確性又は完全性を保証したものではありません。当該情報は作成時点のものであり、市場の環境やその他の状況によって予告なく変更することがあります。この資料に記載する内容は将来の運用成果等を保証もしくは示唆するものではありません。
- この資料を入手された方は、フィリップ証券の事前の同意なく、全体または一部を複製したり、他に配布したりしないようお願いいたします。

WEB